

第9回四国あるき遍路の旅

平成17年11月25日～27日



菩提の道場「伊予」 60番香園寺～65番三角寺

第9回四国あるき遍路の記録							平成17年11月25日～27日		
期日	曜日	コース予定					食事・宿泊		
1	11月25日	金	6:30 羽田空港集合	7:25 羽田空港発	NH583	8:45 松山空港着	9:10 松山空港発	空港リムジン	
			9:27 JR松山駅着	10:15 JR松山駅発	JR予讃線	11:05 王生川駅着	11:18 王生川駅発	JR予讃線	
			11:25 伊予小松駅着	13:15 13:45 吉祥寺発	一徒歩一 約0.2km	12:00 宝寿寺発	一徒歩一 約1.5km	途中で昼食	昼食は吉祥寺にて、 コンビニのおにぎり。
			15:30 63番吉祥寺	15:45 吉祥寺発	一徒歩一 約3.3km	14:15 石鎚神社参拝	一徒歩一 ちょっと	15:00 64番前神寺	宿泊：湯の谷温泉 〒793-0053 西条市洲の内甲1193
			15:30 前神寺発	約1km 湯の谷温泉着	夕食	夕食	周辺見どころ無し。食後は休むだけ。	TEL0897-55-2135	
2	11月26日	土	6:45 朝食	7:10 湯の谷温泉出発	一徒歩一 ちょっと	7:22 湯の谷バス停発	せとうちバス	7:45 大頭バス停下車	
			一徒歩一 約7.8km	10:45 60番横峰寺	一徒歩一	11:45 横峰寺発	一徒歩一	13:55 香園寺奥の院	昼食は横峰寺にて コンビニのおにぎり。
			一徒歩一 約9.6km	15:00 61番香園寺	この間、タクシーに分乗して、小町温泉 「しこくや」にて入浴する。	18:00 夕食	夕食	香園寺宿坊泊	19:00から希望者は動行。
			【車利用の場合】	①タクシーにて横峰寺上野原駐車場まで行く。ここから登山バスに乗り換え（往復1840円）。下車後徒歩25分で横峰寺。 ②湯の谷バス停10:04発に乗車。西条駅前10:23発上野原10:51着。あとは登山バスに乗り換え。下車後徒歩25分で横峰寺。 ※横峰寺へは専用の登山バスに乗り換えなければいけません。下車後の徒歩25分は免れません。					
3	11月27日	日	起床	6:00 朝食	7:30 香園寺発	一徒歩一 約1.7km	8:29 伊予小松駅発	JR予讃線	朝の動行はなし。
			8:38 伊予西条駅着	12:30 三角寺発	【乗換】 伊予西条駅発	JR予讃線	9:29 伊予三島駅着	一徒歩一	
			11:30 65番三角寺	16:00 高知駅前発	一徒歩一 約2.3km	13:10 三島・川之江IC	快速電車	約6.5km 高速バス	昼食は三角寺にて コンビニのおにぎり。
			15:30 高知駅着	18:45 羽田空港着	空港リムジン	16:40 高知空港着	17:30 高知空港発	南国エクスプレス5号 NH568	夕食各自

62番宝寿寺、63番吉祥寺、64番前神寺

松山から瀬戸内を東へ

菩提の道場「伊予」の国、愛媛もいよいよ最後となりました。松山駅に着くと、何度も乗った路面電車が目に入ります。電車の待ち時間も、駅のどこにイスがあって休めるかなんてすでに体が覚えています。



を始めることにしました。

本堂工事中につき、仮本堂をお参りしましたが、前回お参りしたときと変わっておらず、工事は進んで

いないようでした。庫裏の屋根にも、ブルーシートが掛けられたままで、去年の台風の被害なのでしょうか、まだ修理を始めていませんでした。国道11号線沿いの平地でも是だけの被害があったのですから、2日目に行く山の遍路道は大丈夫だろうか、不安がよぎりました。



夫婦で参加の福田さん。きく江さんは、子守から解放されて久しぶりの参加でした。

電車に乗って、伊予小松に向かう途中、前回渡った踏み切りや乗車した駅など思い出され、今年の春のことなのに懐かしさを感じました。

伊予小松駅は、前回の第2班の最後に辿り着いた駅でした。駅前を右に行けば、100m足らずで62番札所宝寿寺です。前回の第2班はすでにお参りを済ませていましたが、今回はここからお参り

国道11号沿いを東へ



62番宝寿寺から63番吉祥寺へは、国道11号に沿って歩くこととなります。交通量の多い道なのに歩道がないのは、歩き遍路には危険です。途中のコンビニでおにぎりを買い込み、次の吉祥寺の境内でお昼を取ることにしました。

吉祥寺も国道11号線沿いにあ

62番宝寿寺、63番吉祥寺、64番前神寺

吉祥寺で昼食



ります。
本堂の前に「成就石」という穴のあいた石があり、本堂前から目隠しをして進み、遍路の杖がこの穴を貫

くと願い事が成就するといわれています。何人か挑戦していましたが、みな近くからスタートしてましたから、杖が通っても、願い事は半分ぐらいしか叶わないんじゃないでしょうか。

お参りを済ませ、境内を拝借して昼食にしました。

途中のコンビニで買ったおにぎりでしたが、少し歩いた後の札所でのおにぎりはおいしかったですね。天気もよく、外で食べることができましたが、雨だったらどうしたのでしょうか。お天気に感謝感謝。

グループと離れておにぎりを食べている三人組は、なにやら特別な飲み物をじさんしたじーさんたちでした。そのあとの足取りが軽くなったのか、ちどりになったのかは不明でした。

昼食後、国道をそれて旧道の遍路道を64番前神寺に向かうことにしました。



▲住職と弟子。
▼石井さんと永康くん。どちらも頭に共通項あり。



62番宝寿寺、63番吉祥寺、64番前神寺

.....

芝之井から石鎚神社そして前神寺へ



.....

芝之井の霊水をいただく。



.....

石鎚神社本殿前にて、きく江さんと広渡さん。

吉祥寺を出て、国道11号を横切って遍路道に出ると、「芝之井」というお大師さんゆかりの井戸があります。このあたりは、四国山地が瀬戸内海に迫っているところで、その伏流水



が湧き出ているのでしょう。この先の加茂川を渡ったあたりは石鎚山系の湧水で特に有名です。

芝之井の水をいただき、遍路道に戻りました。集落の間を縫うように遍路道が通り、地元の生活の匂いを感じながらの遍路です。

遍路道から大きな鳥居が見えてくると、「石鎚神社」です。ここ

は、明治初年まで前神寺だったところで、神仏分離令によって石鎚神社となったそうです。社殿の右からは国道11号沿いの町並みと、その先に瀬戸内海を望むことができました。

元の前神寺だったところをお参りし、明治半ばに再興された前神寺に向かいました。



湯の谷温泉に旅装を解く



.....

前神寺入り口。寺号石の後ろには狛犬が鎮座。「神」の字が付くお寺だからでしょうか。

桜並木の紅葉の下をくぐって、前神寺へと着きました。桓武天皇の勅願所だった前神寺ですが、山門もなく、修験道総本山の風情はあまり感じられません。かろうじて本堂前の火渡りの使う焚き火のあとが修験道らしさを感じさせてくれます。現在、石鎚山東の遥拝所として30万人もの信者さんがいるそうです。

大師堂の左側のイチョウの黄葉

が鮮やかでした。イチョウの下を下ると2～3分で今日の宿「湯の谷温泉」に着きました。

地元の人が入浴に来る旅館は、地域の社交場のような感じでした。泉質は道後温泉をしのぐほどのよい温泉でした。明日の横峰寺を控えて湯に入り、英気を養いながら、早々に床に入ることにしました。

60番横峰寺、61番香園寺

伊予の難所「横峰寺」へ



規の遍路道です。石鎚の山懐に向かっ
てしばらくは舗装の道が続きます。道
中のあちらこちらで昨年の台風被害
の復旧工事がされていました。

人家もなくなり、本当の山中に入る
まで約1時間半とかなりペースが速
いようです。

今日はいよいよ横峰寺への参拝の日
です。早朝、まだ暗い中を、福田
さんは昼食のおにぎりを買って
コンビニまで行ってくれました。

湯の谷温泉の朝食は、6時45分。
温泉前のバス停から7時22分
のバスに乗り、横峰寺入り口の
「大頭」バス停まで行きます。
こっち方面のバスは日に一本
だけでした。

予定より30分ほど早く「大頭」
バス停に着き、ここからは正



まだまだ序の口の遍路道にて、
清水さん。

いよいよ山中に分け入る

最奥の集落手前で一休みすると、
柿の葉の紅葉や、たわわに実った
柿が、深まった秋を感じさせて
くれます。

徐々に勾配がきつくなり、車道
が180度カーブすると、横峰
寺への遍路道の入り口でした。
東屋で一休みしていると、地元
の老夫



前神寺入り口。寺号石の後ろには
狛犬が鎮座。「神」の字が付く
お寺だからでしょうか。

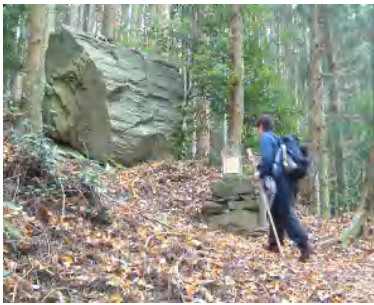
60番横峰寺、61番香園寺

婦が山水を汲みにやってきました。「石鎚の山水はうまいよ。」と、ポリタンクやらペットボトルを荷台にたくさん積んでいました。

溪谷沿いに上る遍路道は、台風の影響で橋が流されたり、倒木がそのままだったり、生活道路ではない分、復旧はまだまだ先のようです。遍路道なのに、鉄筋コンクリートの橋を掛けたり、階段を作ったり、それも一人一人が通るには過ぎるくらい幅を



取っていたり、果たしてそこまで整備する必要があるのか考えさせられました。大自然の前では、人が歩いて通る遍路道さえ、自然破壊に違いありません。そのための人災に近いがけ崩れ現場もあったような気がします。観光客を呼ぶこと、土木工事をして地元経済を活性化させること、本当に必要なかどうか考えなくてはならないと、その恩恵にあずかりながらも思いました。



杖と古い道標を頼りに山中の遍路道に行く。



横峰寺到着

20数年ぶりの横峰寺の仁王門のたすまいは変わっていませんでした。変わったのは、私の体型とハーハーという息づかいぐらいでしょうか。ようやく、横峰寺に到着です。

前回お参りの予定が台風のため登って来れなく、今回も危ぶまれた札所ですから、本当にようやく来れましたという感じでした。仁王門の先のもみじが見事な色で迎えてくれたようです。

境内の斜面一面には石楠花が植えられていて、花の時期は見事に違いありません。



先人たちが苦勞して植えた檜林の中を横峰寺に向かう。林業が衰退した現在では、この立派な檜も伐採されることはないのでしょうか。



60番横峰寺、61番香園寺

横峰寺参拝



横峰寺本堂

大汗をかいて横峰寺に到着したのは、10時45分。大頭バス停から3時間、東屋から1時間半。

予定よりだいぶ早いので、車組がまだ到着して

いないのではと心配しましたが、無事合流してお参りをしました。

横峰寺は石鎚山の西の遥拝所と言われ、昨日の前神寺は東の遥拝所と言われているそうです。仁王門から右に行くと「星ヶ森」という石鎚山を眺められる場所があるのですが、疲れきって登ってきたので行く勇気がありませんでした。すでに寒い季節で、団体遍路は居らず、静かな境内に私たちの般若心経が響き渡り、なんとも言えず爽快な気分でした。

お参りを終え、早めの昼食を取ることになりました。

おにぎりをほおばっているうちに、山



中の冷気が体をつつみ、大汗が冷え始め、晩秋の山寺にいることを実感しました。長居はできずに、出発予定を繰り上げて、1時間ほどで山を下りることにしました。



60番横峰寺、61番香園寺

遍路ころがしを香園寺へ



横峰寺から香園寺までの遍路道は、別名「遍路ころがし」といわれるところで、山麓の札所めがけて一気に下っています。

台風の被害はこちらの方がひどいかもできません。檜が根こそぎ流されていた

.....
横峰寺からの遍路道にて。

り、溪流沿いは瓦礫の山と化していたり、台風のときは恐ろしいぐらいだったに違いありません。急な坂が終わると、落葉の積もった



灘ならかな遍路道となるところもありましたが、再び急坂になると瓦礫の上を下らなければなりませんでした。

香園寺奥の院の手前から舗装道路に出て、2時ごろに奥の院に到着しました。

2時間ちょっところがされた遍路道でした。



遍路道でひざをひねったきく江さんはここからタクシーで香園寺に行くことになりました。なんとか無事だった一行は、山裾伝いにここから1時間ほどで香園寺に着きました。



.....
奥の院近くの舗装道路に出てきました。

巨大ビルディング、香園寺

あるき遍路道は、高鴨神社の石段を下りて、香園寺本堂の真後ろに出ます。神社の正面に立ちはだかるようなビルが、香園寺の本堂・大師堂です。左から回り込むと正面に出て、その巨大な建物の全容に驚かされます。お参りは、建物の中に入らなければいけません。参拝者は、映画館のようなイスに坐ってお参りするようになっています。座席数約1000ぐらい

あるでしょうか。正面の本尊様は、ステージ上に安置されている感じです。大きな声で般若心経を



65番三角寺

詠むと、本堂（というよりホール）中に響き渡りました。

今日は香園寺の宿坊でお世話になります。3時少し過ぎには部屋に入ることができました。予定より1時間も早い到着でした。お風呂は5時からとのことで、近くの

温泉までタクシーで分乗して出かけることにしました。湯の里小町温泉は、へんろ宿「しこくや」さんの中にあり、団体バス遍路などがよく利用するところだそうです。風呂上りの麦般若が格別でした。



伊予小松駅から伊予三島駅まで電車で移動する。

伊予最後の札所、三角寺へ出発

香園寺では朝の勤行はありません。その代わりに、前晚7時から希望者のみのお参りがあります。

朝食は朝6時から執ることができ、珍しく朝は余裕がありました。ところが、朝起きると窓の外は小雨模様。夜中には雷も鳴っていたというではありませんか。予報ではこの3日間は天気を持ちそうでしたが、今回もカッパのお世話にならなければいけない。稲田さんは荷造りした中からカッパを引っ張り出して、再び荷物整理と、余裕があるはずの朝が結局あわただしくなったようでした。

朝7時半に、カッパや傘などそれぞれに雨の身支度をして出発です。

香園寺を出たときは雨が残っていましたが、伊予小松の駅に着く頃にはあがってしまいました。伊予小松駅から伊予三島駅まで電車で約1



時間。今日の歩きはここからとなります。約2時間の遍路道は、住宅街を抜け、高速道路をくぐり、みかん畑の脇を通り、山の急坂、そして最後は仁王門への急な石段。庫裏の前の真っ赤なもみじが出迎えてくれました。



戸川公園で身支度を直していざ山道へ。



65番三角寺

今回は横峰寺が難所とは言っていたものの、この三角寺も結構な登りが待ち受けていました。休憩をした戸川公園から三角寺までは、約4キロの登りでした。山中に入る前は、製紙業が盛んな伊予三島の工場の煙突や、瀬戸内の海が眺められてのどかな感じでしたが、いざ山に入ると意外と険しい場所もあり、菩提の道



場を終えるのも大変でした。

車組と合流して、菩提の道場、伊予最後の般若心経を詠みました。このお寺は、山桜が有名だそうで、「これでこそ、登りがいい、山桜」という一茶の句碑が本堂前にあります。今は紅葉が盛りだったので、「これでこそ、登りがいい、山紅葉」と、詠んでおきましょう。



三角寺庫裏の前の真っ赤な紅葉。

お昼の定番



お参りを済ませ、いつものように境内でコンビニのおにぎりの昼食となりました。今回の昼食は3食とも、札所でのおにぎりとなってしまいました。1回ぐらい暖かいものをおもいましたが、残念ながらそんな場所は皆無でした。でも、立ち寄った店に何もなくて、お菓子だけの昼ごはんだったこともあったのですから、それに比べたらありが



たいものです。次回からは讃岐の国ですので、うまいうどんでも食べられるのではと期待していただきます。



黄葉越しの三角寺本堂。



65番三角寺



三角寺石段を下りて
帰路に着く。

無事にお参りを終えて

ここから一気の下りは、予想外に腿に堪えました。本当に休む間もなく平地まで一気の下りで、一息に高速のバス停まで辿り着いてしまいました。

今回の帰路は、三島・川之江インターから高速バスに乗り、高知に出て、高知空港から羽田に戻るルートでした。松山に電車で戻るより運賃も安いし、時間も短いのです。今まで歩いてきたことを考えると、高知に戻るのとはとても大変なことに思えるのですが、高速道路のおかげです。

バス停に着くと、出発まで1時間ほどの待ち時間がありました。女性陣は待合所で談笑にふけり、男性陣はおあつらえ向きの芝生に



寝転がって休憩です。いざとなると女性の方が底力があることがよくわかる光景でした。

今日の出発のときの雨がうそのような青空が広がり、芝生の心地よさに思わずうとうと。「これでこそ、歩きがいあり、秋の空」でした。

なつかしの高知

高速バスは、四国山地を突っ切ってあっという間に高知市街に入ります。

竹林寺のある五台山や、なんども乗った土佐電の路面電車、はりまや橋、どれも懐かしい景色です。はりまや橋で空港リムジンに乗り換え、空港近くでは、強風の中を歩いた川沿いの堤防などが見え、四国もあと一県を残すだけになったなという感慨が湧いてきました。同時に、残りは香川しかないのかという

さびしさも起きて来ました。

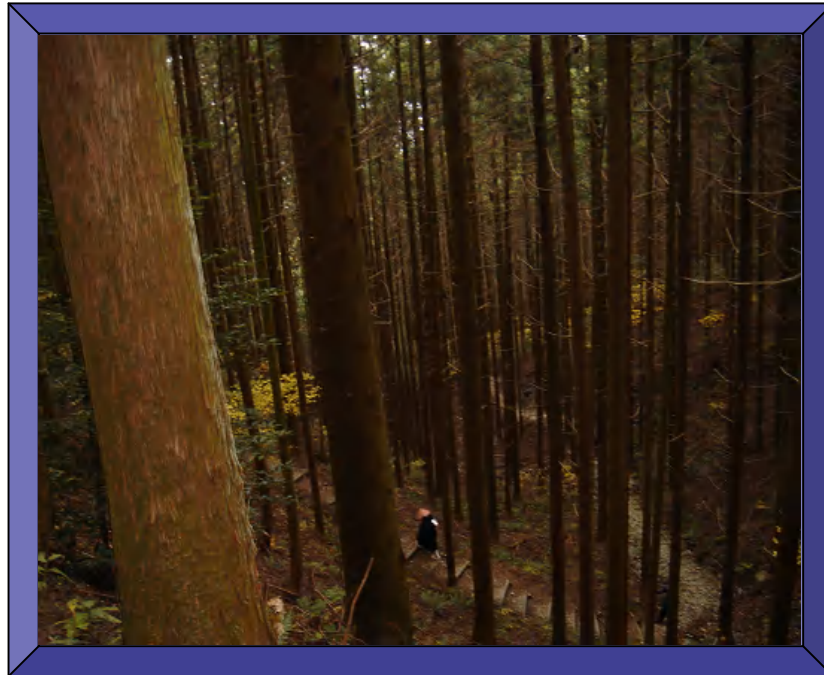
結願が近づいて来た感じがします。最後まで怪我や事故のないように歩きましょう。



山頭火の昼寝もこんな
だったかも・・・。



2005 11 28



第9回四国あるき遍路の旅記録集

取り急ぎまとめたものですので、校正も十分ではありません。誤字・脱字、不適切な表現、間違いなどございましたら、ただご容赦を願うだけです。

写真：福田 和夫
福田 きく江
石川 信子
宮田 宗格
文：宮田 宗格
編集：宮田 宗格
発行：臨済宗妙心寺派
圓福寺
千葉市稲毛区穴川町375